

# 《自己改革取組宣言》

これまでもこれからも地域とともに

JA堺市は総合事業を展開し自己改革に取り組みます!

JA堺市は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目的に自己改革に取り組んでいます。

そして、農産物の販売や、信用事業、共済事業など総合事業体としての強みを活かし、その総合事業全体の収支のなかで、経営理念である都市農業の振興を通じて「食」「農」「緑」を守ります。また、これまでの実践をさらに発展させ協同組合の役割を認識し、組合員・地域住民のくらしの活動拠点として、地域から信頼され必要とされるJAをめざします。

## ～地域から信頼され必要とされるJAをめざして～

- 1. 農家所得の向上を目的とする農産物直売所での地場産農産物販売強化**  
【主要5品目（野菜・花卉類・果物・穀類・加工品）前年対比1%増（225万円増）】  
地場産農産物の品揃え確保と品質管理の徹底により農産物直売所の運営を強化するとともに、幅広い世代の利用を促進します。
  - ・新品目野菜栽培の推進・講習会開催・またきて菜利用券の発行
  - ・移動販売および各区民まつりでの販売・イベント（年36回）の開催
  - ・出荷者大会の開催・クレジットカードの取り扱い など
- 2. 農業生産の拡大を目的とする学校給食食材の出荷量・出荷品目増加**  
【学校給食食材出荷量前年対比5%増（35.0tから36.8tへ）】  
各種営農相談の迅速な対応をはかるとともに、農業生産の主力となる認定農業者および多様な担い手の育成・支援につとめます。また、学校給食用食材をはじめ農福連携への取り組みと集出荷作業の効率化をはかり、地場産農産物の生産・販売の拡大をはかります。
  - ・関係機関との連携強化・集出荷施設の充実・農福連携の充実 など
- 3. 地域の活性化を目的とする食農教育の推進と広報活動**  
【指導事業支出計画額9,592万円（うち営農改善費計画額1,810万円）】  
地産地消を伝える食農教育活動として、管内小・中学校への取り組みのほかに、実験圃場を活用した親子での農業体験の開催に取り組みます。また情報発信による効果的な広報活動を展開します。
  - ・アグリス쿨の開講・水稻苗の無料提供・食農教育冊子の寄贈
  - ・親子料理教室・農業体験・SNSの活用 など